

補習校だより

2018年1月24日発行



寒さが厳しくなりテヘランでも雪が降るようになってきました。今年の冬は例年より暖かく降水量も少ないせいか、イランの冬の風物詩であるアルボルズ山脈の雪化粧も、やっと先日の雪で美しくなってきたように感じます。

日本の節気で今は「大寒」が過ぎ、一年で一番寒い時期にあたりますが、同時に節分の次の日にあたる「立春」はもうすぐです。これからは寒さの中にも少しずつ春の兆しが現れていきます。

風邪をひかぬよう体調管理をしっかりと、今月もがんばっていきましょう！

今月(バハマン月)の予定

	1月25日(木)	休校	日本大使館新年祝賀会
第13回目授業	2月1日(木)	通常授業	
第14回目授業	2月8日(木)	通常授業	
第15回目授業	2月15日(木)	通常授業	



《行事報告》

補習校バザー

12月28日に日本語補習校のバザーが行われました。21日に行う予定でしたが前日にテヘランで珍しく大きな地震があり、安全確保のため市内の学校等は休校になりました。21日に来校される予定だった関係者の皆様に、ご迷惑をお掛けしたことを先ずお詫び申し上げます。

延期になりましたが当日は大盛況で、手作りの日本食やカップ麺、イラン料理のアーシュレシテ、ハンドメイドアクセサリなど、様々な商品が並びました。バザーの売り上げによる寄付金も予想を上回るものでした。皆様のご協力に感謝いたします。



☆感想文紹介☆



『楽しい一日』 3年 原えりか

十二月二十八日にバザーがありました。バザーには、たくさん食べものやアクセサリが売っていました。

わたしは、キーホルダーとピアスを買いました。ポテトフライもおいしかったです。

友だちとたくさんあそべて、とても楽しかったです。

『バザー』 3年 榎原世怜奈

十二月二十八日、ほ習校のバザーがありました。わたしは、友だちといっしょに買物をしました。いろいろなお店がならんで、見ているだけで楽しかったです。

そして自分でえらんで買えることが、うれしかったです。またバザーをやってほしいです。



☆☆作品介绍☆☆

☆2, 4 年生クラスより「詩人になろう」という授業で作った詩を紹介します。



2 年 青山あいさ

ぼくはむぎちゃ
あのこはぼくのことがとっても好き
いつものみたいのみたいといっている

『始まり』 4 年 牛越さくら

空が明るくなる。
世界が起きる。
私が起きて、
新しい一日が始まる。



『七色のにじ』 4 年 かとうルミナ



七色のにじは、なんで
雨上がりの後、みえるのかな？
お空が泣いた後だから
お空をわらわせるためかな？
すぐ消えちゃう七色のにじの
橋をわたってみたいな。

『車』 4 年 田中良杏
早いよ すごく
四つの足で
ブンブン動くよ
風みたいに
ぼくはどうしても つかれない
人がいないと 動かない
ぼくは車だ
好きな所に行けるよ



☆6年生「たのしみは」から始まる俳句と短歌を作ったので紹介します。

「たのしみは 週に一度の ほしゅう校」
「たのしみは テレビ見ながら 食べるごはん」
「たのしみは トランプあそぶ おとうとと」
サファリ紗里奈



「たのしみは ふとんにはいり あたたまり
ねてしまう前の 自由な時間」
「たのしみは 学校帰りの 想像で
昼のメニューを 考える時」
鈴木まり

☆先月に引き続き、「お気に入りの○○」をテーマにした中学部の作文を紹介します。

『ユニバーサルスタジオ』

モラディ モビン

僕の一番の思い出のある場所はユニバーサルスタジオジャパンです。
ユニバーサルスタジオはとても広くて、色んな国から来てる人が多い。
僕がユニバーサルスタジオが好きな理由は二つあります。
一つ目は、アトラクションがほうふで大人から子供まで時間を忘れて遊べる所だからです。
二つ目は、映画で見た建物がたくさんあってスリル満点だからです。それを見るためには、二、三時間待つのがふつうです。
ユニバーサルスタジオは僕の好きなゆうえんちです。きかいがあればまた行きたいです。



『ヘイラン峠』

小林 宗平

僕のお気に入りの場所はヘイラン峠です。
そこはアゼルバイジャン州にあってイランで一番空気がきれいで景色がいい事で有名です。ヘイラン峠は僕たち家族にとってとても思い出ぶかい所です。何故かと言うとそこには毎年一～二回通るからです。ヘイラン峠はアスタラと言うカスピ海の港町からアルダビルを繋ぐ道です。アルダビルは父の生まれた故郷なので毎年伯母に会いに行くためにとおっていました。ヘイラン峠の夏の名物は焼トウモロコシで冬

の名物はアシュドゥグです。

そしてヘイラン峠ではいろんな動物がいます。たとえば犬、馬、シカ、イノシシ、羊、牛などがいました。

『わがピコ』

長谷川 沙弥

ピコは、今年の五月に来ました。ちょうどその日は、ぼくが英語に行っていて五時半に家に着きました。でも何度もチャイムを鳴らしたけど答えがなかったので家の前の公園で待っていました。ぼくは、7時半まで待って家にもどろうとしたら、ちょうどアナヒタとお母さんが来ました。アナヒタを見ると手にダンボールがありその中には、小さいひよこが入っていました。

ピコにとって初めの二か月は天国でしたがその後は後から来たこうはいブラッキーにいじめられるし、家で自由にはなしがいにされなくなり大変な生活でした。二か月後には、ブラッキーが畑に連れて行かれたが、今度はピコの方が家であばれだし結局ピコも畑に連れて行かれました。しかし、ピコにとっては畑は天国でした。なぜなら三羽もメス鳥がいたのです。ぼくにとってピコは、弟です。



編集後記

西暦の新年が明けました。補習校の授業も半分が終わり、これからは後半になります。みなさんにとって前半には、どんな成果がありましたか。『継続は力なり』、きっと一人ひとりにより成果があるはずです。前半を振り返って反省し、後半もがんばっていきましょう！

(鈴木淳子)